緊急対策として 転作率が一律32・5%に増えました

四年連続の豊作や消費の減少などにより、需給バランスが崩れ、米の価格が急激に下落しています。

そのため、「新たな米政策」として、平成十年度から二年間「緊急生産調整推進対策」を実施します。この対策では、緊急に生産調整（転作）の規模を拡大し、早急に米の需給均衡を図って、米の価格の下落に歯止めをかけることを目指しています。

この政策の実施により転作面積が大幅に増えます。農家の皆さんにとっては誠につらく、大変なことでしょうが、自らの経営安定のためご協力をお願いします。

転作が水田の3分の1に

緊急生産調整推進対策では、転作目標面積が大幅に増加されました。十年度に県から市に示された目標面積は、一千二百六ヘクタールと昨年を二百七十九ヘクタール（約三〇%増）も上回りました。

これを受け、大館市緊急生産調整推進対策協議会では、十年度の対策方針を決定しました。その中で、農家への配分については、耕作面積に対し一律三二・五%の率で提示することになりました。

この率は実に耕作面積の三分の一になります。つまり、米の価格が一定だとしても、米だけで考えると、生産額が三分の一も減るということです。このことは、生産者にとっては本当に厳しいこととは思いますが「生産者自らが米の需給と価格の安定を図っていく」という考えのもと、ご理解のうえ、ご協力をお願いします。

減収分は他の作物で

米の減収分については、転作田に収益性の高い作物を作付けするなどして補ってください。確かに畑作となると稲作以上の労力が必要であったり、作業が稲作と競合したり、新たに技術を身に付けなければならなかったりなどと大変です。しかし、やり方によっては稲作よりも収益をあげることも可能です。なお、市が転作重点作物として設定している主な作物は次のとおりです。

◇大豆…栽培面積が多く、流通面で安定している。◇たばこ…流通が安定して、収益性がある。◇山の芋…市の特産であり、助成対象作物である。◇カボチャ…栽培が容易であり、収益性がある。◇ネギ…国の指定産地野菜であり、収益性がある。◇枝豆…栽培期間が短く、収益性があり転作に向いている。◇夏秋キュウリ、夏秋トマト…収益性がある

助成制度が変わりました

昨年までは転作を実施さえすれば、助成補助金が支払われていました。しかし、十年度からの助成対象者は、米需給安定対策（全国とも補償）に加入している、転作達成者に限られます。

また、自主流通米の価格変動が稲作経営に及ぼす影響を緩和するため、一定の補てん金を交付する制度が設けられました。これは生産者の拠出と政府の助成による資金をもとに、過去三年間の自主流通米の平均価格と当年産価格の差の八割を補てんするものです。これらの詳しい内容やその他の助成制度については農林課（☎49－3111・内線294）または、大館市農業総合指導センター（☎42－3336）にお尋ねください。

消費者の皆さんもご協力ください

主食であり、家計費の主要な部分を占める米の価格の下落は、消費者にとっては歓迎されることでしょう。しかし、今まで市を支えてきた農業が、今、苦しみ、もがいています。

転作政策が始まって以来、大館市では常に転作の目標面積を達成してきました。このように市内の農家が努力しているのにもかかわらず、今年は、水田面積の三分の一までも転作しなければなりません。これは本当に大変なことです。これ以上の負担を強いることが無理なことは、消費者の皆さんもご理解できると思います。ぜひ、消費者の皆さんが手助けできることをやってみてください。

米の消費拡大にご協力を

消費者が簡単にできる手助けとしては、やはり米の消費拡大でしょう。パンやめん類の回数を、意識して一回でも米飯に変えたのなら、それだけでもかなりの拡大につながります。それをあなただけでなく、友人、知人にも拡大させ、市域を超えて普及していったのならものすごい拡大になります。できることから米の消費拡大に取り組んでください。これは市の発展にもつながることになります。

九年度の米飯等に関する標語コンクールで金賞に輝いた作品を紹介します。

小学生の部

おいしいごはん　大好きごはん
いっぱいたべて　元気に遊ぼう
長木小学校3年　もり　まなみさん

元気の源おいしいごはん
今日も楽しい米飯給食
南小学校2年　菅原　広樹さん

おいしいごはんで　元気いっぱい
友だちいっぱい
桂城小学校4年　石田　亜佑子さん

一般の部

噛（か）むほど美味（おい）しい　秋田のお米
みんなおかわり　ハイ・ごはん
伊藤　ケイ子さん